

# 取扱説明書

---

オイルフィルタ  
FH150シリーズ

---

---

---

---

---

---

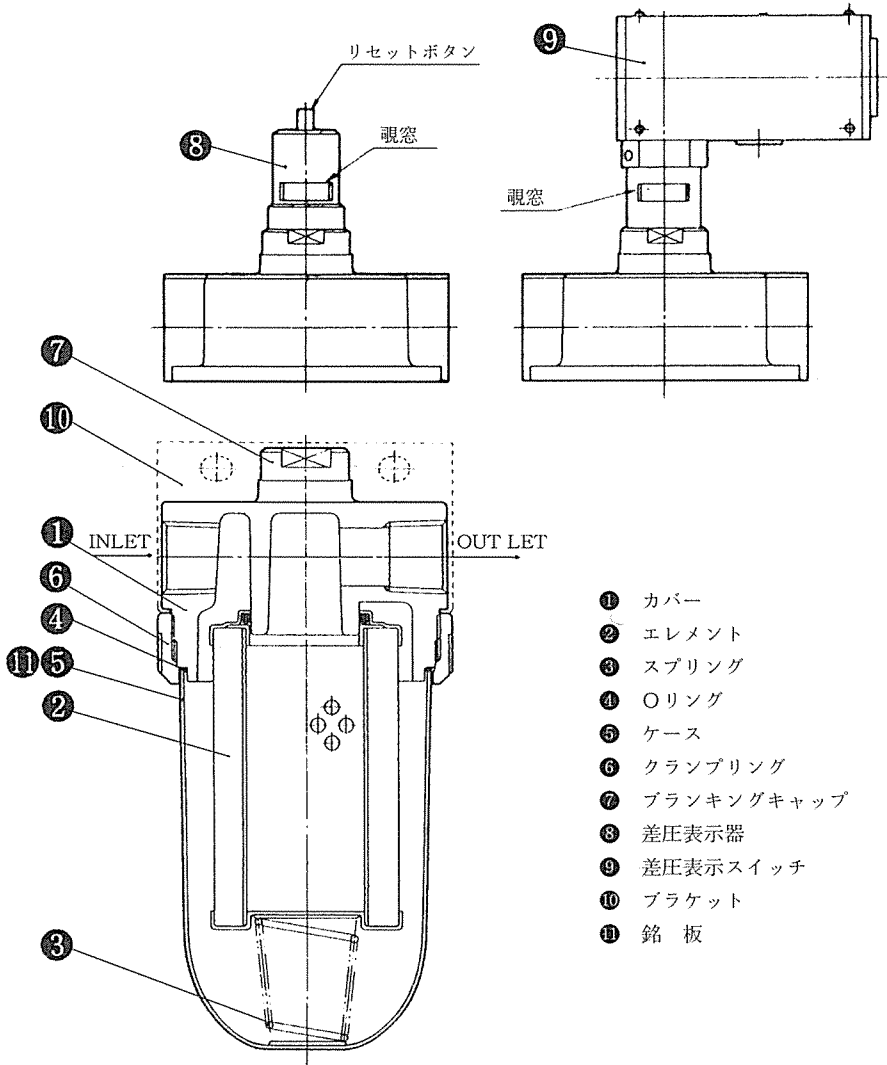
---

---

---

---

● 構造図



- ① カバー
- ② エレメント
- ③ スプリング
- ④ Oリング
- ⑤ ケース
- ⑥ クランプリング
- ⑦ ブランキンングキャップ
- ⑧ 差圧表示器
- ⑨ 差圧表示スイッチ
- ⑩ ブラケット
- ⑪ 銘板

## ●取付運転方法

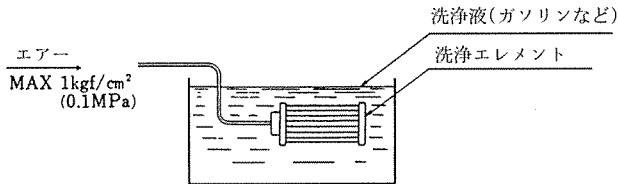
1. 取り付けの際には、INLET、OUTLETを確認の上、⑤ケースが下になるように接続してください。
2. フィルタを取り付けてフラッシングした時は、本運転に入る前に必ずエレメントを交換してください。
3. 各シール部に、漏れなどのないことを確認後、運転に入ってください。

## ●保守点検方法

運転中に差圧が $1.3\text{kgf/cm}^2$ に達した時、または、差圧表示器の表示リング（赤色）が視窓全面に浮上した時、あるいは、差圧表示スイッチによる電気的信号が出された時は、運転を止め、次の順序で分解しエレメントを交換してください。尚、冬期低温時における差圧表示額の作動は、高粘度によるものが多いので正常運転に入ってから目詰りによるものかどうか、確認してください。また、フィルタ目詰り信号を機械のシーケンス回路に組み入れる場合は、正常運転になるまで目詰り信号が作動しないような設計を考慮願います。

## ●エレメント取外方法

1. 構造図の①クランプリングを緩めて⑤ケースを取り外し内部に溜っているドレンを抜き取ってください。
2. ②エレメント底部に差し込んである④スプリングを取り外してください。
3. ②エレメントを①カバーから取り外してください。
4. 取り外したペーパーエレメントは、新品と交換してください。（マイクロメッシュエレメントは超音波洗浄または、下図のように清浄なエアを内側から吹き込んで、灯油、軽油、ガソリンなどで洗浄してください。）



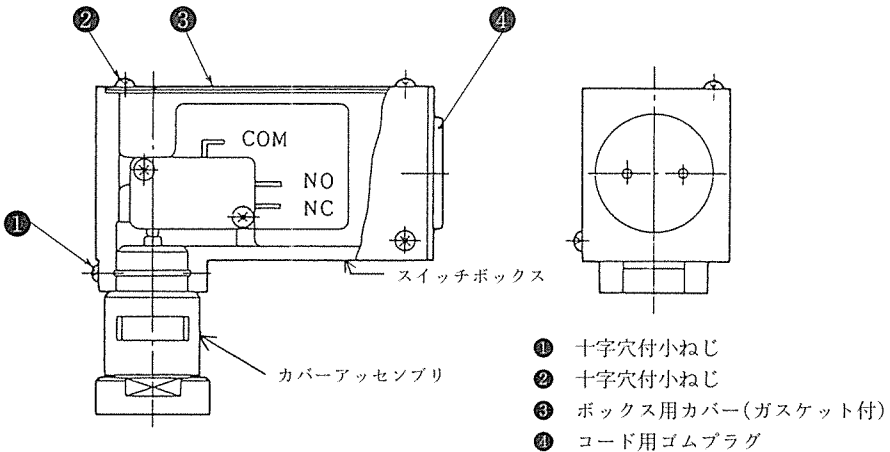
## ● エレメント取付方法

1. 各部Oリングは、破損、変形、膨張、硬化などの有無を確認して、異常なものは、新品と交換してください。
2. ②エレメントは③スプリングをエレメント底部に差し込んでから、④カバーに差し込んでください。
3. ②エレメントを傷つけないように⑤ケースを④カバーに取り付け⑥クランプリングで締め付けてください。(最大締付けトルク Max 150kgf・cm)
4. シール部より漏れないことを確認し、本運転に入ってください。
5. ⑧差圧表示器はエレメント交換後必ずリセットしてください。  
なお、⑨差圧表示スイッチは、自動復帰(ノリセット)タイプです。

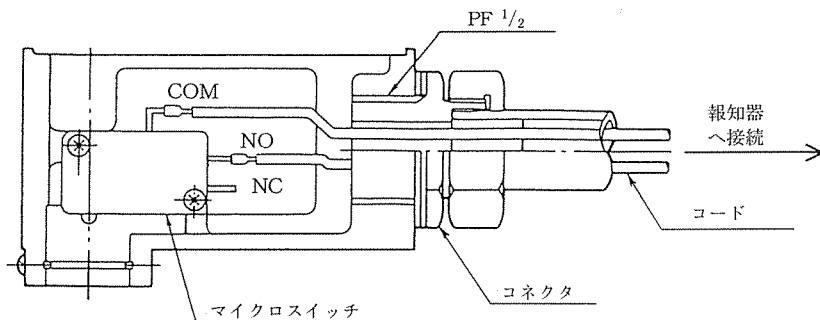
## ● アクセサリ (差圧表示類) 取扱方法

1. 差圧表示類の視窓部には、透明プラスチックが使用されていますので、有機溶剤などの付着及びスパナなどによる打痕傷を付けないよう十分注意してください。
2. 差圧表示類は、調整してありますので分解しないでください。

## ● 差圧表示スイッチの電気配線方法



1. 第1図に示す①十字穴付小ねじ(2コ)を緩めて、スイッチボックスを上へ引き抜いてください。
2. スwitchボックスの②十字穴付小ねじ(4コ)を外して、③ボックス用カバーを取外してください。



第2図 NO (常時開) 接続例

3. ⑩コード用ゴムプラグを取外し、次の要領で配線を行ってください。
  - 3-1 第2図のようにコネクタ等を用いて、マイクロスイッチの平型端子に任意 (NO、NC) に接続してください。尚、配線は平型接続子 (リセプタクル#187) を使用するか又は半田付けによって行ってください。作業が終了次第⑨ボックス用カバーを②十字穴付小ねじ (4コ) で締付けて取り付けてください。
  - 3-2 接続するコードは、フィルタ分解組立に際して支障のない余裕のある長さにしてください。
  - 3-3 スイッチボックスをカバーアセンブリの上部に隙間がなくなる迄差し込み任意に方向を決め⑪十字穴付小ねじ (2コ) を締付けて固定してください。

**SMC株式会社**

URL <http://www.smcworld.com>

お客様技術相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-837-838

受付時間 9:00~17:00 [月~金曜日]

代理店

⑩ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© 2008 SMC Corporation All Rights Reserved